

2006年度 都市住宅学会業績賞:

「末永く安心して暮らせる住まいづくりへの先駆的市民サポート活動展開
—登録住宅制度の普及活動と住宅の長寿命化支援システムの実践—」



● ミッション: 「親から子供たちへ...3代住み継がれる安心の住宅とまちづくりを支援する」

当住宅支援センターは「消費者とのネットワーク」を構築し、良質な住宅を建築し、かつ「長くメンテナンス」していくことで「地球環境の保全」や家計に占める住宅コストの軽減に貢献し、QOL(クオリティ-オブ-ライフ)の向上を目指しています。

● 基本活動:

「住宅性能表示制度の普及啓発」を基本として、「優良な住宅づくり」や「登録住宅制度」などによる長期にわたる支援活動を行い、住宅メンテナンス診断士および住宅インスペクターの全国的な人材育成はじめ諸活動で支援しています。

● 団体概要:

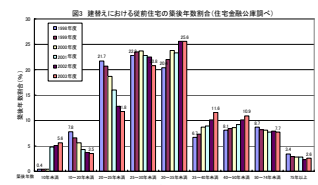
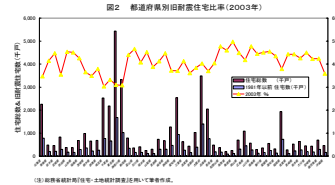
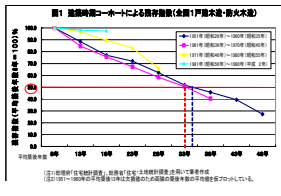
- ・理事長 東樋口 護、・設立:2001年12月18日(大阪府認証NPO)、
- ・会員数:85名(正会員21社・人、利用会員56社、賛助会員5社、サポート会員3名((2006年10月現在)
- ・大阪府住まいの評価・管理アドバイザー認定団体(2003年)、大阪府耐震診断改修技術者紹介システム協力団体(2006年)

住まい、暮らし《社会的背景》

★課題:①日本の戸建木造住宅寿命は約33年(図1参照)と英国75年、米国44年と比べて短命。住宅ストックの有効活用。
—住宅の質、既存住宅市場の未整備、住まい手への情報提供に格差、欠陥住宅問題、耐震対策—
②住まい手の住宅図書の保管、補修・改築履歴の記録保存、信頼できるメンテナンス診断の仕組み不十分。



現場調査①(兵庫築後118年住宅)



現場調査事例②

■ 業績:

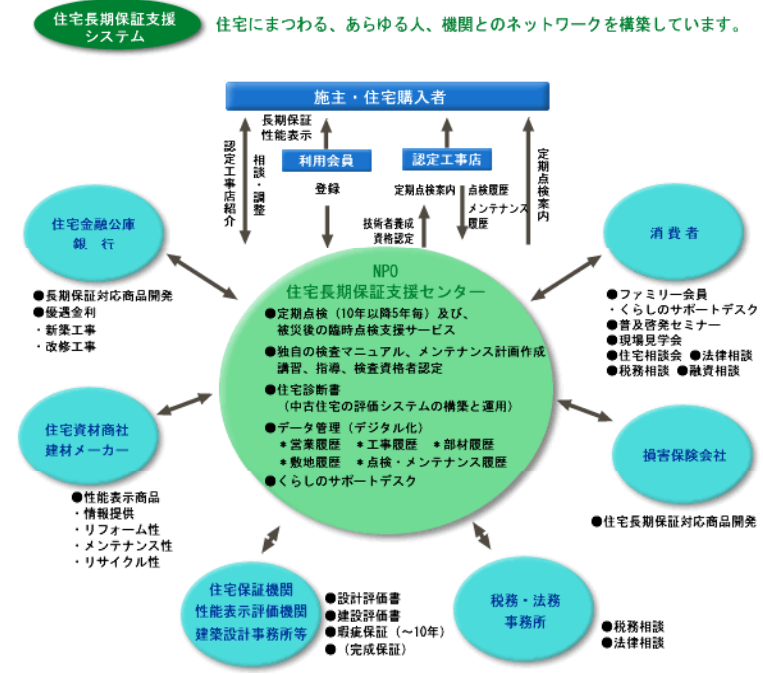
「住宅インスペクション」有資格者による適確な現場検査と診断書報告(関西地区)

「登録住宅制度」性能表示住宅の設計図書等のデジタル保存(最長75年)と関連利用サービス提供

「情報発信・共有化」豊富な不具合事例の蓄積と発信事例集発行、消費者セミナー開催

「専門人材育成」住宅メンテナンス診断士 住宅インスペクター(商標登録・第4956004号)

Support System



1. 住宅メンテナンス診断士育成事業:11回実施(東京、大阪他)



2. 消費者啓発・広報活動:

